

第2回 みんなの会議事録

出席者 14名

坂本さん(アドバイザー)/ 準備事務局 (鳥谷・太田・今屋敷・熊谷)

石原さん・長谷川さん・篠原さん・稲場さん・時田さん

新環境クリーンセンター建設課 (佐野さん・稲川さん・遠藤さん)

19:05~19:25 近況を話す。前回の振り返り。

10月18日の意見交換会。みんなの会準備事務局が発足。事業者への情報共有の呼びかけ。

10月31日の川崎重工主催WG。要求水準書を達成する。活動に主眼を置いた部屋ごとのWGを行う。諸元表を開示する。次回11月16日。

議題 1

19:25~20:39 「準備事務局からのやることリスト」について 15個を提出 *別紙参照

リスト1「クリーン工房と坂本さんの役割分担」

リスト2「坂本さんが半年の期間に達成すること」について

・平成31年3月までに、インタープリーターの制度をつくること。育成までは未定である。

リスト8「施設運営上のルール」

川崎重工(協力;クリーン工房)が提案する。市が条例で定める。

リスト4「集客の戦略」

リスト5「質的目標」

その他「他の施設にないおもてなし」

・クリーン工房の業務範囲である。

意見交換会は川崎重工WGもみんなの会も、決定の場と考えている。

日時を明らかにして欲しい。開催は12月中旬

リスト9「インタープリーター制度の説明・質問」

バスの見学会は1月末、2月「インタープリーター制度の意見交換」でいいのか。

行政側としては、インタープリーター制度は指定管理者の提案とは別に制度化しておきたい。理由として、市民(インタープリーター)が考えて市民に説明している。

この体制が市民主役といえるのではないかと考えたため。

バス見学会はWGの顔ぶれが集まってからでもいいのではないか。また、広報ふじで公募する必要があるのではないかと案がでた。詳細については坂本さんと行政で詰める。

議題 2

20：40～21：05 「環境フェア」への参加について

環境フェアはドローンで撮った映像を流すなど、全部行政側で行うこともできる。

しかし、環境フェアを富士市内で「環境」に興味のある人に「環境学習施設」をアピールする場として考えられないか。簡単な工作で子供を引き付け、親に話を聞いてもらうのはどうか。

①諸元表から抽出したプログラムのチラシ。

②メンバー募集のチラシ。

③日程表（市主催の意見交換会、川崎重工主催のワーキンググループ、みんなの会、バス研修旅行）を配るのはどうか。

別紙

準備事務局がみんなの会で確認したいことのメモ

1. クリーン工房さんと坂本さんの役割分担
2. 坂本さんが半年の期間に達成すること
3. 富士市民にワーキンググループの活動があることを知ってもらうための広報活動
4. 集客の戦略（目標設定）
5. 質的目標
6. 理念（自分たちの言葉で、何を目指す施設であるかを言いたい。）
7. ゾーンとして考えた場合の連携

(2~7については早急に取り掛かるべき。期限を設けて行うことが必要では?)

8. 施設運営上のルール
9. インタープリターの制度
10. インタープリターの育成
11. 交通の便について
12. 組織の横の連携

(8~12については、来年度でもよいかも?)